

## 第2 決算審査特別委員会

# 文教厚生 常任委員会



左から眞崎、牟田口、西田、徳永、中島和の各委員

委員長 西田 勉  
副委員長 牟田口美智子  
委員 眞崎 萬次  
徳永 豊  
中島 和正

## 一般会計

■乳幼児医療対策費、重度心身障害者医療対策費、母子家庭等医療対策費の医療費支給額は微増の傾向にあり、疾病の早期発見及び保健管理の向上と福祉の増進をなお一層図るよう努められたい。

■高齢化が今後急速に進む中、介護予防や独居老人等への対応するため、事業の効果的な運営に取り組み、住民の福祉により一層努力されたい。

■保育料の滞納総額は100万4千500円となっており、今後は一層の徴収の努力とともに保育料の支払いが困難な生活困窮者への減免の対応等について検討されたい。

■クリークの水質浄化のために合併処理浄化槽の設置補助を行っているが、平成18年度末までの整備率52・44パーセントで、今後さらなる整備の推進に努められたい。

■循環センター「くるるん」の生ごみの分別収集により、燃やすごみの量が約4割程度減り、また収集した生ごみに異物の混入が少ない状況であるなど、町民の減量に対する意識の高さを再確認し、行政と町民の協働作業の成果、一つのまちづくりの方向性が示された。

■各種の生涯学習事業に取り組み、講座、教室を開催しているが、住民ニーズを把握し事業計画を行うこと。

■学校給食共同調理場は、施設が老朽化して

いることから、設備等の十分な点検を行い計画的な改修を行っていくこと、また、給食費の未納が増加していることからその対応策について強化されたい。

## 国民健康保険

■保険給付費の医療費は、国保会計に大きな割合を占め、医療費の予測は困難であるが、慎重に予算計上されたい。

■医療費増の対策として、今後とも健康づくり事業の充実と訪問活動の推進に努められたい。

■国民健康保険税の現年課税分の収納率は94・17%、滞納繰越分は13・09%である。納税義務の公平性から、さらに徴収に努力されたい。

## 老人保健

■老人医療費は、扶助費の特性はあるが、予算の補正は慎重に行うこと。

■適正受診の訪問指導をさらに推進されたい。

## 水道事業

■今後とも万一の事故の無いよう万全の対策を講じ、安くて安心な水道水の安定供給に努められたい。